

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語 I B	
科目基礎情報							
科目番号		g0150		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		環境都市工学科		対象学年	1		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		教科書：『Power On English Communication I 』（令3検定済）、東京書籍、2022年、690円(検定済教科書につき非課税) ※ 英語 I Aより継続使用 / ワークブック：『Power On English Communication I WORKBOOK』東京書籍、2022年、591円＋税 ※ 英語 I Aより継続使用 / 単語集：『COCET 2600 理工系学生のための必修英単語2600』成美堂、2012年(初版)、本体1,700円＋税 ※ 英語科目共通で在学中使用 / 文法書：『総合英語 Evergreen』いっすな書店、2017年、1700円＋税 ※ 英語科目共通で在学中使用					
担当教員		小澤 健志					
到達目標							
英語の発音 ・英語のつづりと音との関係を理解できる。 ・英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。 語彙 ・中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、500語程度の語彙を新たに習得する。 ・自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。 文法事項及び構文 ・中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。 ・高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。 読み書きを通して行うコミュニケーション ・毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。 ・自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 音読		英語のつづりと音との関係を理解でき、英語の発音記号を見て、発音できる。		英語のつづりと音との関係をほぼ理解でき、英語の発音記号を見て、ほぼ発音できる。		英語のつづりと音との関係を理解できず、また、英語の発音記号を見ても発音できない。	
評価項目2 語彙力		中学で既習の1200語程度の語彙が定着しており、500語程度の新たな語彙を習得している。自分の専門に関する基本的な語彙も習得している。		中学で既習の1200語程度の語彙がほぼ定着し、500語程度の新たな語彙の習得がほぼできている。自分の専門に関する基本的な語彙もほぼ習得している。		中学で既習の1200語程度の語彙の定着が見られず、500語程度の新たな語彙の習得もできない。自分の専門に関する基本的な語彙も習得できない。	
評価項目3 文法的知識、英文読解		中学校で既習の文法事項や構文が定着しており、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文が習得できている。		中学校で既習の文法事項や構文がほぼ定着しており、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文がほぼ習得できている。		中学校で既習の文法事項や構文が定着しておらず、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文が習得できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程 3(2)							
教育方法等							
概要		・ 正確な英語の読解力の修得を主目的とし、各 Lesson につき、単語・熟語・文法事項等を総合的に学習していく。 ・ 英語Ⅱ Bと平行し、『COCET 2600』の「単語番号No.0501～1000」の500語の習得を目指し、語彙力のアップを図る。 ・ 「実用英検 3級一次試験に合格できる英語力」が、単位認定の「目安」となる。					
授業の進め方・方法		・ 発音記号の読み方等につき、英語Ⅰ Aに引き続き、確実な習得を目指していく。 ・ 正確な読解力の修得を主目的とし、各Lessonにつき、授業を進めていく。 ・ 単語の意味や文法事項等については適宜説明を行う。 ・ 自学によるワークブックの学習を必須とし、また「課題」の評価対象とする。 ・ 実用英検、技術英検等の各資格試験に関わる説明等を適宜行う。 ・ 授業の冒頭で、『COCET 2600』の単語テスト(Review Test)を活用し、語彙学習を行う。 後期中間試験(まで)：単語番号 0501～0750 (250語) 単語テストは「50語／回」× 5回 後期定期試験(まで)：単語番号 0751～1000 (250語) 単語テストは「50語／回」× 5回 ※ 中間試験および定期試験においても、同範囲で『COCET 2600』から出題する。					
注意点		・ 常に「100%正確に英文を理解する」ことを心掛け、一単語たりとも決しておろそかにしないこと。 ・ 配布資料等の整理およびファイルのため、「A 4判・40ポケット以上」のクリアブック(安価なもので良い)を各自で必ず用意すること。 ・ 中間および定期試験は「教科書等の学習内容:80点+COCET 2600:20点=100点満点」で実施する。 ・ 中間および定期試験は100点満点で実施するが、80点は教科書等における発音・単語・熟語・文法事項等に関する問題、20点は『COCET 2600』からの単語の意味を確認する問題となる。 ・ 評価は「中間試験35%＋定期試験35%＋課題30%」で行うが、各試験において『COCET 2600』を7%(合計14%)含む。 ・ 単位不認定となった場合の対応までを含む評価方法等の詳細については、ガイダンス時に A 4判 4 ページの文書を配布し、説明を行う。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	・ ガイダンス ・ 発音記号		・ 学習方法や評価方法等について理解する。 ・ 発音記号を読めるようにする。		
		2週	・ Lesson 6 Patterns in Human Behavior ・ COCET 第11回：単語番号 0501～0550		・ 教科書本文により読解のための総合的な学習を行う。 ・ 単語集の Review Test により語彙学習を行う。		
		3週	・ Lesson 6 Patterns in Human Behavior ・ COCET COCET 第12回：単語番号 0551～0600		・ 教科書本文により読解のための総合的な学習を行う。 ・ 単語集の Review Test により語彙学習を行う。		

		4週	・ Lesson 7 No Plastic or No Future ・ COCET 第13回：単語番号 0601～0650	・ 教科書本文により読解のための総合的な学習を行う。 ・ 単語集の Review Test により語彙学習を行う。
		5週	・ Lesson 7 No Plastic or No Future ・ COCET 第14回：単語番号 0651～0700	・ 教科書本文により読解のための総合的な学習を行う。 ・ 単語集の Review Test により語彙学習を行う。
		6週	・ Lesson 8 Oh My Cod! ・ COCET 第15回：単語番号 0701～0750	・ 教科書本文により読解のための総合的な学習を行う。 ・ 単語集の Review Test により語彙学習を行う。
		7週	・ Lesson 8 Oh My Cod!	・ 教科書本文により読解のための総合的な学習を行う。
		8週	中間試験	第7週までの学習内容の修得状況の確認を行う。
	4thQ	9週	・ Lesson 9 Is E-sports a Real Sport? ・ COCET 第16回：単語番号 0751～0800	・ 教科書本文により読解のための総合的な学習を行う。 ・ 単語集の Review Test により語彙学習を行う。
		10週	・ Lesson 9 Is E-sports a Real Sport? ・ COCET 第17回：単語番号 0801～0850	・ 教科書本文により読解のための総合的な学習を行う。 ・ 単語集の Review Test により語彙学習を行う。
		11週	・ Chapter 10 ・ COCET 第18回：単語番号 0851～0900	・ 教科書本文により読解のための総合的な学習を行う。 ・ 単語集の Review Test により語彙学習を行う。
		12週	・ Chapter 10 ・ COCET 第19回：単語番号 0901～0950	・ 教科書本文により読解のための総合的な学習を行う。 ・ 単語集の Review Test により語彙学習を行う。
		13週	・ 技術英検 3 級 ・ COCET 第20回：単語番号 0951～1000	・ 技術英検 3 級について理解し、演習を行う。 ・ 単語集の Review Test により語彙学習を行う。
		14週	・ 実用英検準 2 級	・ 実用英検準 2 級について理解し、演習を行う。
		15週	定期試験	第9から14週までの学習内容の修得状況の確認を行う。
		16週	答案返却・解答と解説	定期試験の解答と解説を行う。
評価割合				
	中間および定期試験 (教科書等)	中間および定期試験 (COCET 2600)	課題	合計
総合評価割合	56	14	30	100
基礎的能力	56	14	30	100